

製品安全対策優良企業表彰（PSアワード） 及びプラスあんしん制度の御紹介

2026年6月12日

産業保安・安全グループ 製品安全課

製品安全対策優良企業表彰（PSアワード）

表彰概要

- ・ **企業や団体の製品安全に関する優れた取り組みを表彰する制度**。製品安全を確保するための体制を審査し、特に優れた取り組みに重点を置いて評価。平成19年度から開始し、**本年度で20回**。これまでに150超の企業・団体等を表彰。
- ・ 企業による製品安全の先進的な取り組みを讃えることで、企業による事業活動や消費者の日常生活において製品安全に対する意識が向上し、**製品安全を重要な価値として位置付ける「製品安全文化」が定着**することで、**社会全体で製品の安全が確保**されることを目的に実施。

製品安全対策ゴールド企業について

- ・ PSアワードの取り組みの一環として、経済産業大臣賞（旧金賞含む）を計3回受賞した企業を「**製品安全対策ゴールド企業**」として認定。ゴールド企業**認定から5年経過ごと**に、認定時の取り組みを引き続き維持・発展させているか、審査委員会でフォローアップを実施。

フォローアップを受けた回数に応じて星マークを追加

- ・ 上新電機株式会社★★
- ・ 株式会社バンダイ★★
- ・ 株式会社イトーヨーカ堂★★
- ・ 株式会社相田合同工場★
- ・ アキュフェーズ株式会社★
- ・ YKK AP株式会社★
- ・ パナソニック株式会社
- ・ くらしアプライアンス社
- ・ ランドリー・クリーナー事業部
- ・ マツバ株式会社



ゴールド企業ロゴマーク
(フォローアップ版 星あり)

ゴールド企業の取り組み事例

- 【YKKAP株式会社】**
- ・ 令和7年3月、製品安全コミュニティにおいて**施設の視察受け入れ&希望者へ向けたオプションツアーを開催**・令和4年以降の視察受け入れ企業6社
 - ・ **明治大学リバティアカデミー安全学講座を支援**し、令和4年度より安全学入門（春季）、安全学各論（秋期）をYKKAP寄付講座で開催
- 【上新電機株式会社】**
- ・ **年間約40万件以上の修理・配送・設置データの分析**を行い、**メーカーに対する製品改善や事故防止の提案**を継続的に実施。
 - ・ 膨大な製品・不具合情報を共有する独自システムにより、**本体のみならず付属品・消耗品 購入者にリコールDMを送付**し、徹底した被害防止に努めている。

3

賞の構成と審査フロー

1) 賞の構成

	部門	表彰内容	募集対象	
企業・組織	大企業 製造事業者・輸入事業者部門	経済産業大臣賞 技術総括・保安審議官賞 優良賞（審査委員会賞）	「消費生活用製品」の製造事業 または輸入事業を行う者を対象[a]	
	中小企業 製造事業者・輸入事業者部門	経済産業大臣賞 技術総括・保安審議官賞 優良賞（審査委員会賞）		
	大企業 小売販売事業者部門	経済産業大臣賞 技術総括・保安審議官賞 優良賞（審査委員会賞）	「消費生活用製品」の小売販売 事業を行う者を対象[b]	
	中小企業 小売販売事業者部門	経済産業大臣賞 技術総括・保安審議官賞 優良賞（審査委員会賞）		
	令和7年度新設 + あんしん	団体部門	特別賞（審査委員会賞）	[a][b]以外の「消費生活用製品」に関連した事業を行なっている団体を対象
	企業総合部門	特別賞（審査委員会賞）	[a][b]以外の「消費生活用製品」に関連した事業を行なっている企業（「ネットモール運営事業者」を除く）を対象	
	ネットモール運営事業者部門	特別賞（審査委員会賞）	「ネットモール運営事業者」を対象	
製品	製品部門	特別賞（審査委員会賞）	特定の誤使用・不注意による事故リスクの低減を図った消費生活用製品	

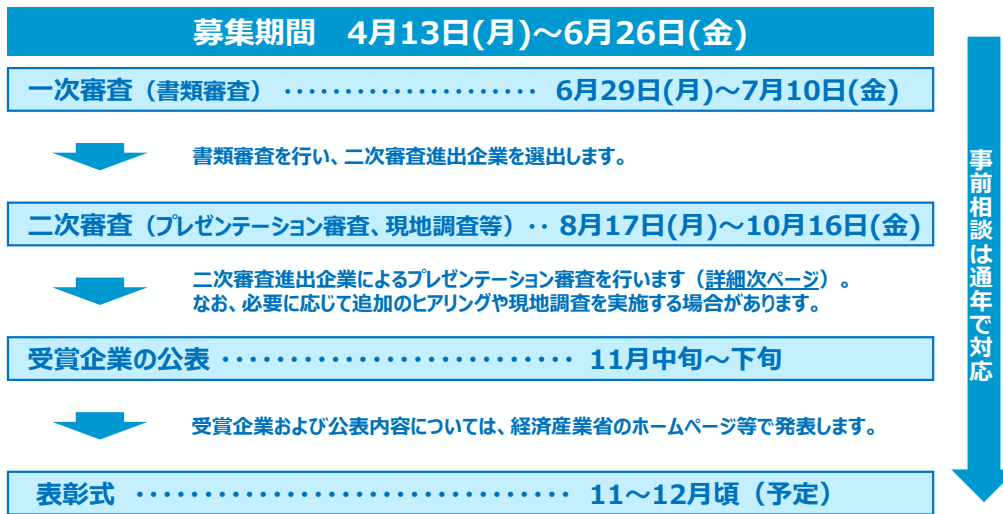
※1「消費生活用製品」とは、主として一般消費者の生活の用に供される製品をいいます。（消費生活用製品安全法第2条）

※2「インターネット上で製品の売買を行うオンライン・ショッピング・モール、インターネット・オークション、オンライン・フリーマーケット等の場を運営する事業者」をいいます。なお、ネットモール運営事業者が自ら製造、輸入又は販売の事業も行つ場合には、製造事業者・輸入事業者部門、又は小売販売事業者部門にも該当しますので、主たる業務に応じて応募部門を選択してください。

4

賞の構成と審査フロー

2) 審査フロー



※受賞に至らなかった場合も含め、すべての応募企業に対して、審査委員からのアドバイスをお送りします。

審査における考え方

- 人は必ずミスをする
- 事故が起きた後に、消費者の立場に立って、真摯にスピーディーに対応することが大切

過去の製品事故やリコールなどの有無は問わず、むしろ事故やトラブルの経験を糧に、どのように取組を改善したか、どのように体制を整備しているか、評価

審査基準 企業4部門 -4つの視点-

製造・輸入、小売販売事業者部門



※ 令和5年(2023年)4月1日から審査時点までの約3年間の製品安全に対する取組を評価対象期間とします。

7

審査基準 特別賞 -2つの視点-

企業総合部門、団体部門、ネットモール運営事業者部門



※ 令和5年(2023年)4月1日から審査時点までの約3年間の製品安全に対する取組を評価対象期間とします。

8

応募上の留意点

■ 応募に際しては、**製品事故を防止し、製品の安全性を確保することにつながる具体的な取組**をアピールしてください。

- ・ 本表彰制度は「製品安全」の取組を評価するものであり、労働安全などに関する取組は評価対象となりません。
- ・ 製品安全の実現と品質要求を満たすことは必ずしも同義ではありません。あくまで製品安全の観点から取組内容を整理してください。
- ・ どのように「優れた」取組であるのか、具体的な内容をアピールしてください。
- ・ 下記のページに、これまでの受賞企業が評価された取組が掲載されています。参考にしてください。
https://www.meti.go.jp/product_safety/ps-award/3-consumer/r7_award.html

受賞企業の評価ポイント（製造・輸入事業者）

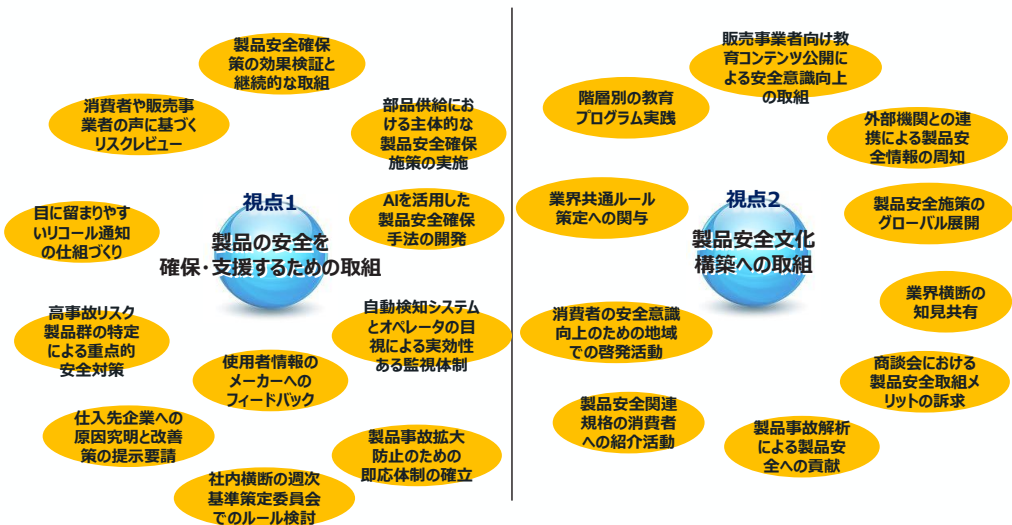


受賞企業の評価ポイント（小売販売事業者）



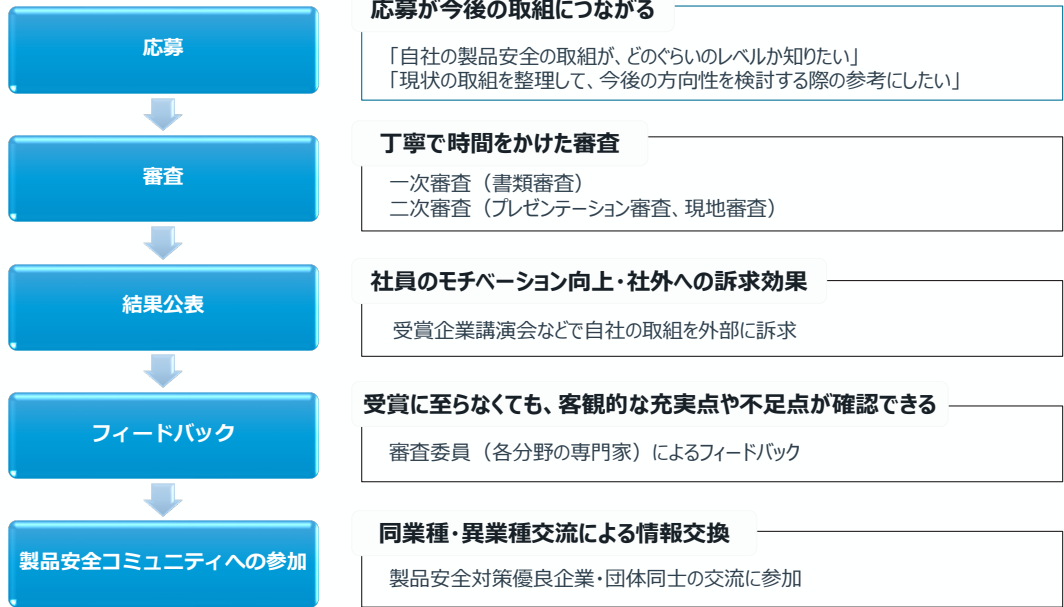
11

受賞企業の評価ポイント（特別賞）



12

製品安全対策優良企業表彰 応募のメリット



令和7年度 第19回製品安全対策優良企業表彰 受賞企業一覧（7社）



経済産業大臣賞		
中小企業 製造事業者・輸入事業者部門	株式会社いうら	愛媛県東温市
中小企業 小売販売事業者部門	株式会社カイノ電器	山形県寒河江市
技術総括・保安審議官賞		
大企業 製造事業者・輸入事業者部門	富士フィルムビジネスイノベーション株式会社	東京都港区
優良賞（審査委員会賞）		
大企業 製造事業者・輸入事業者部門	象印マホービン株式会社	大阪府大阪市
大企業 製造事業者・輸入事業者部門	株式会社ノーリツ	兵庫県神戸市
大企業 小売販売事業者部門	株式会社大創産業	広島県東広島市
特別賞		
企業総合部門	ヤマト運輸株式会社	東京都中央区

製品安全コミュニティの活性化について

受賞企業間の連携

- PSアワード受賞企業を対象に、製品安全に対する各企業での知見の共有や交流促進を目指し、製造・販売といった業種・業態や、大企業・中小企業の垣根を越えた受賞企業間での異業種交流の場（製品安全コミュニティ）を提供し、企業間連携を推進。
- 一例として、令和4年度より製品安全企業向け研修（当省主催）を実施。過去の製品事故から得られた教訓や、社内の安全管理体制の整備、研修参加者が日頃の業務で抱えている製品安全対策に係る悩みと改善に向けた対策検討に関するディスカッション等をテーマにカリキュラムを編成し、企業での製品安全文化の醸成・深化や、製品安全への取り組みの『輪』の拡大（仲間づくり）を進めている。

製品安全コミュニティ

令和8年3月11日に経済産業省にて開催し、**47名**が参加。有識者による講演や受賞企業のベストプラクティス発表、次年度のPSアワード20周年に向けたイベントや企業間連携による製品安全の広報手段などをテーマにしたワークショップを実施。コミュニティ発展につながる具体的な計画等の検討を深めた。



製品安全企業向け研修

日程 令和7年11月27日～28日

場所 経済産業研修所、オンライン

プログラム（一部）

- 誤使用による製品事故を防止する：人間工学の立場から
- 中間流通業における製品安全の取組
- 人間生活工学に基づく人にやさしいものづくり
- 生活機能を考慮した安全な製品開発の支援
- 電器製品の品質トラブルを未然防止するために
- R-Map手法によるリスクアセスメント演習
- グループ討議：製品安全に対する課題と対策検討



15

製品安全コミュニティの活動や取組の対外発信により、

- ✓ 企業間の“横のつながり”が生まれ、各企業における更なる製品安全実現に向けた取り組みの深化へ
- ✓ 受賞企業が業界の先駆けとなり、製品安全に取り組む企業が増え、スタンダードとなる社会へ



**製品安全 = 「価値」
文化の醸成へ**

16

誤使用・不注意による事故リスクを低減した製品の表彰・表示制度（+あんしん）

「誤使用・不注意」等が原因の事故は全体の約3割発生

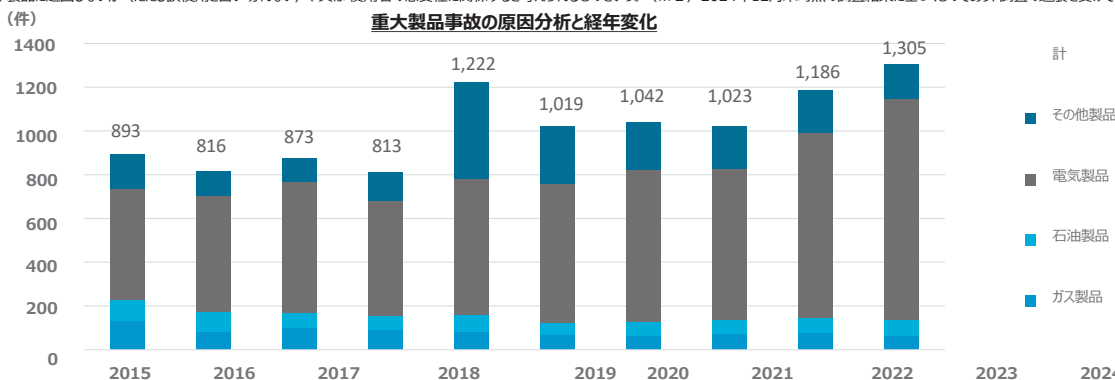
重大製品事故の原因分析と経年変化

2024年12月末時点の調査結果※2

受付年	製品起因	経年劣化	設置・修理不良	誤使用・不注意	偶発的事故等※1	原因不明	調査不能	非重大製品事故等	調査中	合計
2022年	321件	27件	17件	74件	204件	334件	16件	6件	24件	1,023件
	31.4%	2.6%	1.7%	7.2%	19.9%	32.6%	1.6%	0.6%	2.3%	100%
2023年	281件	46件	19件	68件	198件	409件	15件	13件	137件	1,186件
	23.7%	3.9%	1.6%	5.7%	16.7%	34.5%	1.3%	1.1%	11.6%	100%
2024年	112件	11件	5件	18件	80件	147件	11件	5件	916件	1,305件
	8.6%	0.8%	0.4%	1.4%	6.1%	11.3%	0.8%	0.4%	70.2%	100%

出典：消費生活用製品安全法に基づいて消費者庁から経済産業省製品安全課に通知された重大製品事故（事故の受付日ベース）を基に経済産業省製品安全課で集計

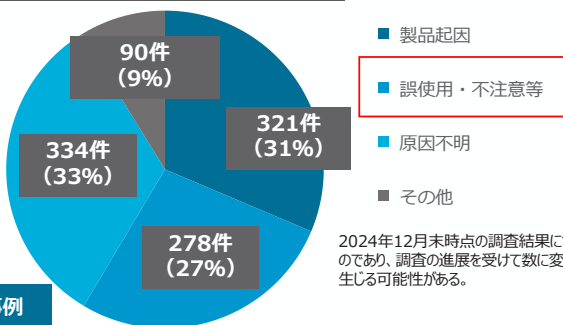
（※1）「偶発的事故等」とは、製品に起因しないか（ただし誤使用と言いきれない）、又は使用者の感受性に関係すると考えられるものをいう。（※2）2024年12月末時点の調査結果に基づくものであり、調査の進展を受けて件数に変更が生じる可能性がある。



出典：消費生活用製品安全法に基づいて消費者庁から経済産業省製品安全課に通知された重大製品事故（事故の受付日ベース）を基に経済産業省製品安全課で集計（注）消費者庁が事業者から重大製品事故報告を受理した日で計上

身体・認知機能が低下した高齢者による誤使用等事故は6割を超える

2022年 重大製品事故の原因



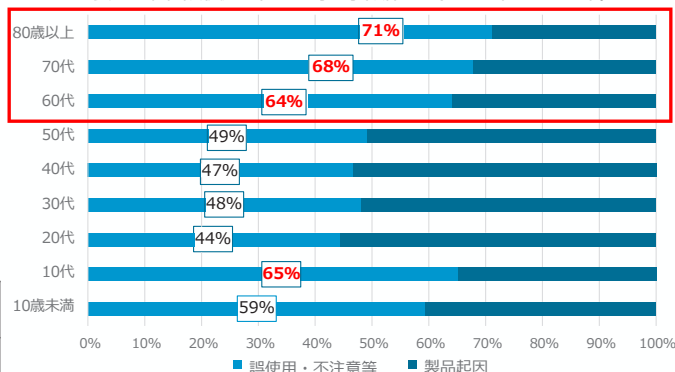
2024年12月末時点の調査結果に基づくものであり、調査の進展を受けて数に変更が生じる可能性がある。

事故事例

ヘビーカー	父親がヘビーカーを開く際に、誤ってフレームの接続部に3歳児の指を挟み、小指の先端が切断。
除雪機	70代の高齢者が、緊急停止機能をキャンセルして除雪機を使用中に、壁と除雪機に挟まれ死亡した。
ガスこんろ	80代の高齢者が、マフラータオルを首に掛けたままガスこんろを使用中に、マフラータオルに着火し火傷を負った。
ドア	子供が、玄関ドアに手を掛けて靴を脱いでいる間にドアが閉まり、右手親指を挟み骨折した。
暖房便座	80代の高齢者が、暖房便座に30分弱座っていたことで低温火傷を負った。

60代、70代、80歳以上で多く、他の年齢層より高い

製品起因と誤使用・不注意等の事故割合（2020年～2022年）



出典：消費生活用製品安全法に基づいて消費者庁から経済産業省製品安全課に通知された重大製品事故（事故の受付日ベース）を基に経済産業省製品安全課で集計
 ※製品起因と誤使用・不注意等による重大製品事故の合計件数を分母とし、それぞれの割合を示したもの。
 ※2022年12月末時点の調査結果に基づくものであり、調査の進展を受けて件数に変更が生じる可能性がある。
 ※NITEによる事故調査の結果、負傷者等の年代が判明したものを計上。
 ※事故にかかると複数人の年代が判明したものは、負傷者、使用者、所有者の順に優先して計上。
 ※判明した年齢に幅がある場合や複数人負傷者等がある場合、より低い年代で計上。
 ※「小学生」は10歳未満、「中学生」「高校生」は10代、「大学生」は20代で計上。

誤使用・不注意防止に対応する製品にスポットライトをあて、消費者が安全を意識する「製品安全市場」の構築を目指す

今までの課題

高齢者や子供による誤使用・不注意等事故の発生割合が高い製品では、製品側でそうした事故リスクを低減する機能の搭載が期待されるが、**開発コストが価格転嫁されるため、一般的に消費者への訴求も難しい傾向。**



実施目的

- 特定の誤使用・不注意の防止対策が採られた製品について、そのリスク低減状況を評価し、効果が認められた製品はその旨が分かるような表示を付すことで、事業者と消費者間のリスクコミュニケーションを促進し、消費者が自ら安全な製品を選択しやすい環境を整備。
- 「誤使用・不注意等事故を防ぐ製品」が市場で評価され、安全性が一つの強みや差別化要素となれば、誤使用・不注意での事故減少が期待できる。

受賞のメリット

「プラスあんしん」の発信例②

- 受賞商品は、受賞後にAmazon上の特集ページでも紹介され、生活者との新たな接点づくりに活用されている。

「プラスあんしん」の価値

- Amazonで特集ページが用意されていることで以下のような効果が期待できる。
- ✓ 受賞実績の見える化
- ✓ 商品理解から購入導線への接続
- ✓ 制度の社会的発信力・生活者向けの効果

amazon.co.jp @ 12-0001 +あんしんストア Amazon.co.jpを検索

三すべて Amazonポイント: 残高を確認 ヘルプ ふるさと納税 ネットスーパー ランキング Amazon Basics タイムセール Prime Video 新着商品 Prime Video 君のことが頼りたいもの。

「+あんしん」受賞製品

経済産業省が認定した、誤使用・不注意による製品事故リスクを低減した製品の表彰・表示制度（+あんしん）の受賞製品

「+あんしん」受賞製品特集ページについて

経済産業省は2025年より、誤使用・不注意による製品事故リスクを低減した製品に対する表彰・表示制度「+あんしん」を創設しました。この制度により、受賞した製品には「+あんしん」マークが表示され、消費者の皆様がより安全な製品を選択しやすくなります。このページでは、「+あんしん」受賞製品を一覧にしています。

製品一覧

すべて購入する
その他の購入オプションについては、各商品詳細ページを確認してください

在庫状況
 すべて
 在庫ありまたは注文可能
 在庫なしを含む

Amazonプライム対象商品
 prime

配送オプション
 通常配送料無料 (条件あり)

【WEB限定】IHクッキングヒ... 4.4 ★★★★★ (65)	【WEB限定】IHクッキングヒ... 4.4 ★★★★★ (65)	エレコム usb cケーブル 2m ... 5.0 ★★★★★ (1)	エレコム usb cケーブル 1m ... 5.0 ★★★★★ (1)	エレコム usb cケーブル 1m ... 5.0 ★★★★★ (1)

特集ページ
<https://www.amazon.co.jp/b?node=215639124051>